

秋田さきがけ新聞（２００４年２月１７日掲載）
あきたフェリー利用セミナー

物流業務の効率化を

県内の物流業者の業務改善を支援しようと、県環日本海交流推進協議会（辻兵吉会長）は１６日、あきたフェリー利用促進セミナーを秋田市の秋田キャッスルホテルで開いた。物流業者や荷主ら９０人が参加し、効率的な物流システムをつくって経費を削減する方法に理解を深めた。

辻会長は「関西方面の荷物が思うように伸びていない。物流業務の効率化や環境対応からみてフェリーへの関心は高い」とあいさつした。

物流コンサルタントの日本ロジファクトリー（本社大阪）の青木正一社長が「物流業の課題と物流業務改善の着眼点」と題して講演。「運賃を見直すなどしても、コスト削減には限界がある。適正な在庫の設定や、業務にパート労働者を採用するなど、社内の物流コストを見直し、トータルで物流経費を下げる努力が必要」とアドバイスした。

この後、鉄道や貨物船などを利用した共同輸送システムを構築し、コストを削減した事例が報告された。